

令和7年度 標準学力調査の結果について

1 調査の目的

- ・教育委員会及び各学校が、自らの教育施策及び教育活動の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ・各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査の内容及び対象学年

(1) 教科に関する調査

- ①小学校第2～5学年 国語、算数
- ②中学校第1・2学年 国語、数学、社会、理科、英語（第2学年のみ）

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

- ①小学校第3学年
- ②中学校第1学年

3 調査実施日

令和7年4月17日（木）

白老町教育委員会

令和7年12月

4 各学年の傾向（国語、算数・数学）

（1）小学校

<2年生>

国語

- 多くの領域で、全国平均より低い傾向にあります。
- 特に「情報の扱い方に関する事項」の領域の定着が課題です。

算数

- 多くの領域で、全国平均よりかなり低い傾向にあります。
- 特に「図形」「数の計算」の領域の定着が課題です。

<3年生>

国語

- 多くの領域で、全国平均より高い傾向にあります。
- 「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域は、全国平均と同程度の定着が見られます。

算数

- 多くの領域で、全国平均よりかなり低い傾向にあります。
- 特に「データの活用」の領域の定着が課題です。

<4年生>

国語

- 多くの領域で、全国平均より低い傾向にあります。
- 「情報の扱い方に関する事項」「書くこと」の領域の定着が課題です。

算数

- 多くの領域で、全国平均よりかなり低い傾向にあります。
- 特に「測定」の領域の定着が課題です。

<5年生>

国語

- いくつかの領域で、全国平均よりやや高い傾向にあります。
- 「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域は、全国平均と同程度の定着が見られます。

算数

- 多くの領域で、全国平均よりかなり低い傾向にあります。
- 特に「図形」「変化と関係」の領域の定着が課題です。

(2) 中学校

<1年生>

国語

国語

- 多くの領域で、全国平均よりかなり低い傾向にあります。
- 特に「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域の定着が課題です。

数学

数学

- 多くの領域で、全国平均よりかなり低い傾向にあります。
- 特に「数と計算」の領域の定着が課題です。

社会

社会

- 多くの領域で、全国平均より低い傾向にあります。
- 「世界の中の日本の役割」の領域の定着が課題です。

理科

理科

- 多くの領域で、全国平均よりかなり低い傾向にあります。
- 特に「物質・エネルギー」の領域の定着が課題です。

<2年生>

国語

国語

- 多くの領域で、全国平均よりやや低い傾向にあります。
- 特に「書くこと」の領域の定着が課題です。

数学

数学

- 多くの領域で、全国平均よりやや低い傾向にあります。
- 特に「図形」「数と式」の領域の定着が課題です。

社会

社会

- いずれの領域も全国平均とほぼ同様かやや低い傾向にあります。

理科

理科

- 多くの領域で、全国平均より低い傾向にあります。
- 特に「エネルギー」「粒子」の領域の定着が課題です。

英語

英語

- 多くの領域で、全国平均より低い傾向にあります。
- 特に「書くこと」の領域の定着が課題です。

5 白老町の学力向上策

- 「白老町スタンダード(白老の底力)」を基軸にした確かな学力の定着を図る取組の推進
- 小規模校における遠隔授業の実施及びICT端末を活用した取組の推進
- 義務教育9年間の切れ目のない学びの実現による小中一貫教育の充実及び小中連携教育の推進